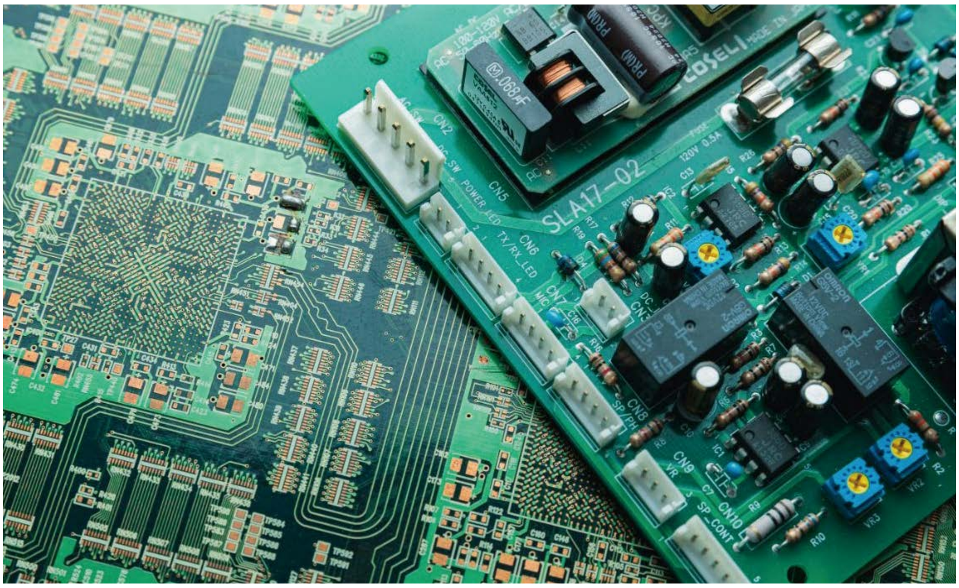
株式会社 樋口電子

多品種少量生産の電子機器需要に手加工で応える

納期相談　コスト相談　メイドインジャパン　試作可小ロット　量産対応



プリント基板とHMD実装基板

主な事業内容
プリント基板実装、ハーネス加工、電子機器の組立

主な取引先(納入先)
端子メーカー、工作機械メーカー、搬送機器メーカーなど

主な製品
産業・教育・医療などの各種分野の電子機器

業務内容　医療・農業機器など幅広い業種と取引

樋口電子は、電子部品の母体となるプリント基板やハーネスの加工、製品の組立などを行う。具体的には、プリント基板への部品挿入やはんだ付けなど手作業による加工を核に、幅広い分野での多品種少量生産を得意としている。

創業は平成8年という比較的若い会社だが、元々は個人でプリント基板の商社として創業したのが始まり。はんだ付けなどの従来技術に加え、検査などに新しい技術を取り入れることで発展してきた。産業機器、農業機器、教育機器、美容機器メーカーなど、幅広い業種と取引があるのが特長だ。

強み　〝コンビニエンス加工屋〟をめざして

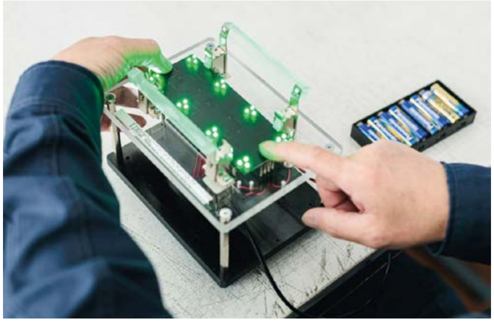
プリント基板は非常に幅広い分野で使われ、かつニーズも多様であるため、多品種少量生産が得意というのは大きな強みとなる。また、同社は基板の設計、材料調達から実装、そして完成品に至るまで、一貫した製品づくりができる体制を整えている。

〝コンビニエンス加工屋〟と名乗り、コンビニエンスストアのように身近で頼れる存在として、ユーザーが抱える悩みごとを把握し、柔軟な発想でスピード感を持って対応。設備の汎用性が高く、また、運送業者に依頼することなく、自社で引き取りや納品もできるため、それぞれの相手先の希望に合わせた納期で製品を届けることが可能。幅広いユーザーから高い信頼を得ている。

品質向上　新たな設備導入で生産性向上・人材定着へ

プリント基板には高い品質が求められる。一般的に、はんだ付けの良否の基準は企業によって異なるが、同社は数値化した基準を設けて製品を提供している。圧着や組立、配線など平準化が難しい手作業も、作業ごとに基準を設け、安定した品質の提供に成功している。

新たな設備の導入にも積極的だ。独自の生産管理システムの構築や、AI搭載のカメラ検査装置の導入などで、間接部門の作業量削減や現場の生産性向上・不良率低減への取り組みを進めている。また、年齢や生活ステージに合わせて労働時間を柔軟に設定していることが人材の定着につながっており、高品質な電子機器製造に寄与している。



プリント基板ICT検査

プリント基板への実装挿入

社長あいさつ

代表取締役
樋口 明夫さん

当社は業界や加工内容を問わず、様々な経験を積んでおり、これが柔軟性という強みにつながっています。考え方から形、製造方法まで、時代によって柔軟に変化させることで、ものづくりの土台となるエッセンシャルカンパニーをめざしていきます。

主な保有設備

- 自動はんだ付け装置(噴流槽PbF) TS-400SP セイテック製 1台
- 自動はんだ付け装置(静止槽 共晶)YSM-804N 横田機械製 1台
- スプレーフラクサー SSF-400 千住金属工業製 1台
- はんだごて FX-971ほか 白光製 12台
- はんだ吸取器 FR-410ほか 白光製 4台

大阪 06

住　所／〒569-0841 高槻市西面北1-12-1
ＴＥＬ／072-678-1785
ＦＡＸ／072-678-1786
創　業／平成８年1月
設　立／平成11年9月
資本金／1,000万円
従業員／16名

https://www.higuchi-ele.com/